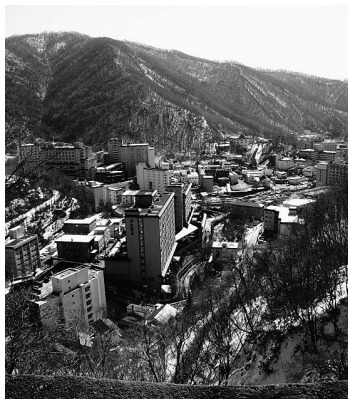


近年は、長引く国内景気の低迷により国内観光客が減少傾向にあり、増加傾向にあった外国人観光客についても昨年秋口からの円高による影響が強く懸念されます。基幹産業である観光産業の冷え込みは、市内経済にも大きな影響を与え、ともに、税収にも影響を与え、厳しい財政状況からの脱却がさらに難しくなることが想定されます。基幹産業である観光産業が元気を取り戻すことにより、市内経済の活性化が図られると考えますので、市民の皆さんとともに知恵を出し合い、まちを挙げての全市観光地づくり、いつまでも光を放ち続けられる観光地づくりに取り組みたいと考えています。



▲登別温泉街

そのためには、新たな観光客の誘客やピーターを増やすための観光戦略づくりに取り組むとともに市内に埋もれている観光資源の掘り起こしとその活用の方策を探り、各地域がそれぞれの特色を生かして連携し、新たな産業へと繋がる潜在的な力『地域力』を掘り起こし、地域の活

性化に取り組みたいと考えています。また、観光産業を軸とした『産業クラスター形成計画』を推進することにより、新たな起業を誘導するとともに、雇用の場が創出されるよう取り組みたいと考えています。

さらに、長年、本市の大きな観光資源である『登別温泉』というビッグブランドに続く、新たな登別ブランドづくりについて経済関係団体や多くの市民のご協力をいただきながら取り組みを進めるとともに、東京登別げんきかいや札幌のぼりべつ会のご協力を得ながら、その販路の拡大を推進し、地域経済の活性化に向けて取り組みます。

基本的な考え方③

市民の暮らしを大切に
したまちづくり

少子高齢化や核家族化の進行などにより、地域における隣近所との付き合いが希薄化しています。

このような時代にこそ、人々が手と手を取り合い、思いやりを持って支え合う『福祉の心』が重要となってきました。

高齢者は、長年の人生の中で培ってきた知恵や経験を子どもたちや若い人たちへ伝え、子どもたちや若い人たちは、高齢者を敬い支え合う『思いやりの心』を持って接し、誰もが住み慣れたまちでこのまちに生まれ、生きていくことができるように、

がいをもって暮らし、安全・安心な生活を送ることができるとともに、地域社会の実現が求められています。



▲郷土資料館での正月しめ飾りづくり体験

そのためには、子育て世代が安心して子どもを生み育てられる環境、高齢者や障がい者を地域で支える仕組みづくり、さらには市民や団体、事業者、行政がおのおのの役割分担をしながら参加する地域福祉の推進体制の充実に取り組みます。

また、『自らの健康は自ら守る』という健康の自己管理意識を高めるとともに、市民が自ら取り組む健康づくりへの支援を行います。



▲筋力の向上と脳の活性化を図る
かるやか体操

重点施策

- ① 財政の健全化
- ② 地域経済の活性化
- ③ むくもりのあるまちづくり
- ④ 市民が安心して暮らせるまちづくり
- ⑤ 市民が快適に暮らせる都市基盤の整備
- ⑥ 協働のまちづくりの推進

重点施策①

財政の健全化

本市の財政状況は、『三位一体の改革』などによる臨時財政対策債を含めた実質的な地方交付税の削減と景気低迷や生産人口の減少による市税収入の伸び悩みに加え、ごみ処理施設建設事業をはじめとする大型事業の影響などによりピークを迎えた公債費が高止まりの状況が続くなど、大変厳しい状況にあります。

平成19年8月に作成した『中期財政見通し』では、平成19年度から平成22年度までの収支不足額が28億2千万円に上ると試算したところであり、この収支不足額の解消を図るため、財政健全化に向けた取り組みを